

今までの経過と今後の検討事項

1. 取組経過

- 第1回(3/1) 初会合、顔合わせ、自己紹介、運営・テーマ検討
- 第2回(3/15) テーマ決定(伊賀越え逃走路)
- 第3回(4/5) 四條畷～星田 逃走関連情報の共有化
星田における家康関連場所を巡る

2. 星田関連

- ①星田駅～旗掛け松跡～神祖宮趾の碑～平井家～けんしきさんの屋敷跡[住宅]～
(星田神社・星田寺)～沙弥安さんの屋敷跡[果樹園]～伝家康ひそみの藪～
(星田妙見宮)～(水辺プラザ)～私市駅
- ②平井家(村長、先祖は三河出身)
6/2 深夜ひそみの藪に隠れていた家康一行におにぎりを振舞う
- ③けんしきさん、沙弥安さん 山城までの道案内人
- ④ひそみの藪
6/2深夜? 四條畷～星田 6km、12時間以上経過、宇治田原6/3 10時到着できるか?

3. 資料

- ①伊賀越え逃走路
『石川忠総留書』 堺、平野、阿部、山ノねき、ホタニ、尊念寺、草地、宇治田原 (原文のまま)
家康が本能寺の変を知ったのは、飯盛山付近、本多忠勝、茶屋四郎次郎が伝える
『武徳編年集成』 津田郷内の土豪が案内人、穂谷・尊延寺を通った
『枚方市の歴史』 生駒山麓(山岳修験の宿坊あり)、尾根伝い、穂谷、尊延寺、(馬部隆弘)
『伊賀暮らしの文化探検隊』(池田裕) 山ノねき…恩地川(山根着川)、生駒西麓北流
- ②ウォークMAP…大坂の陣ウォーキングマップ、交野市歴史散策、交野市観光

4. 検討事項・疑問点

①四條躰～星田のルート

詳細地図による検討

②星田を本当に通過したのか？

妙見宮、四條躰(住吉平田神社 神主 三牧家)と星田妙見宮(神主 和久田家)の関係

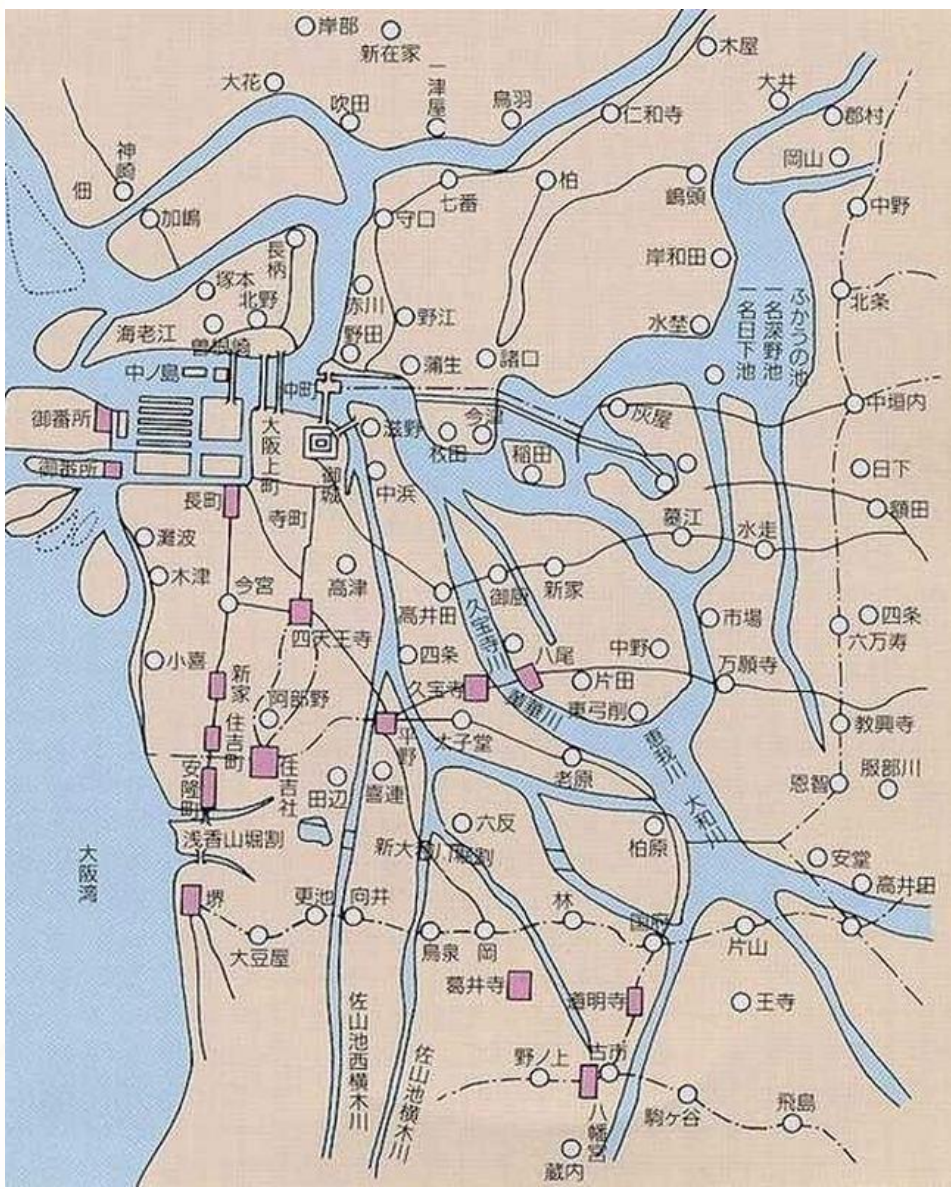
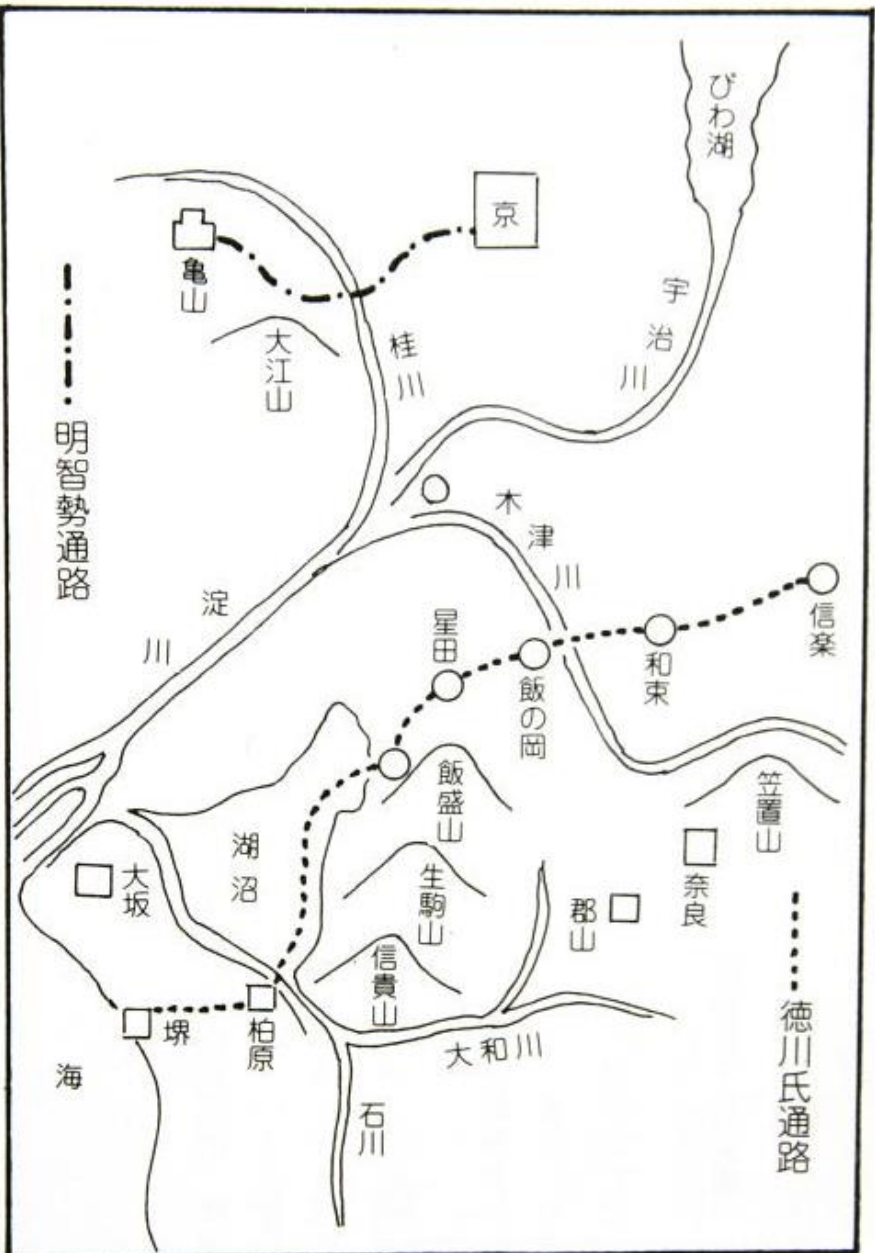
③疑問・確認事項

- ・その時代の地形、湖沼
- ・馬・かごの利用
- ・家康一行34名、梅雪一行12名の逃走の仕方
- ・道の案内人・・・恩恵者、知人、三河出身
- ・逃走路・・・間道、抜け道
- ・立ち寄るところ・・・安心・安全、人に感づかれないところ、人里離れたところ

④時間的経過

6/2 本能寺の変(4時) 家康堺出発(6時) 家康飯盛で変を知る(10時)

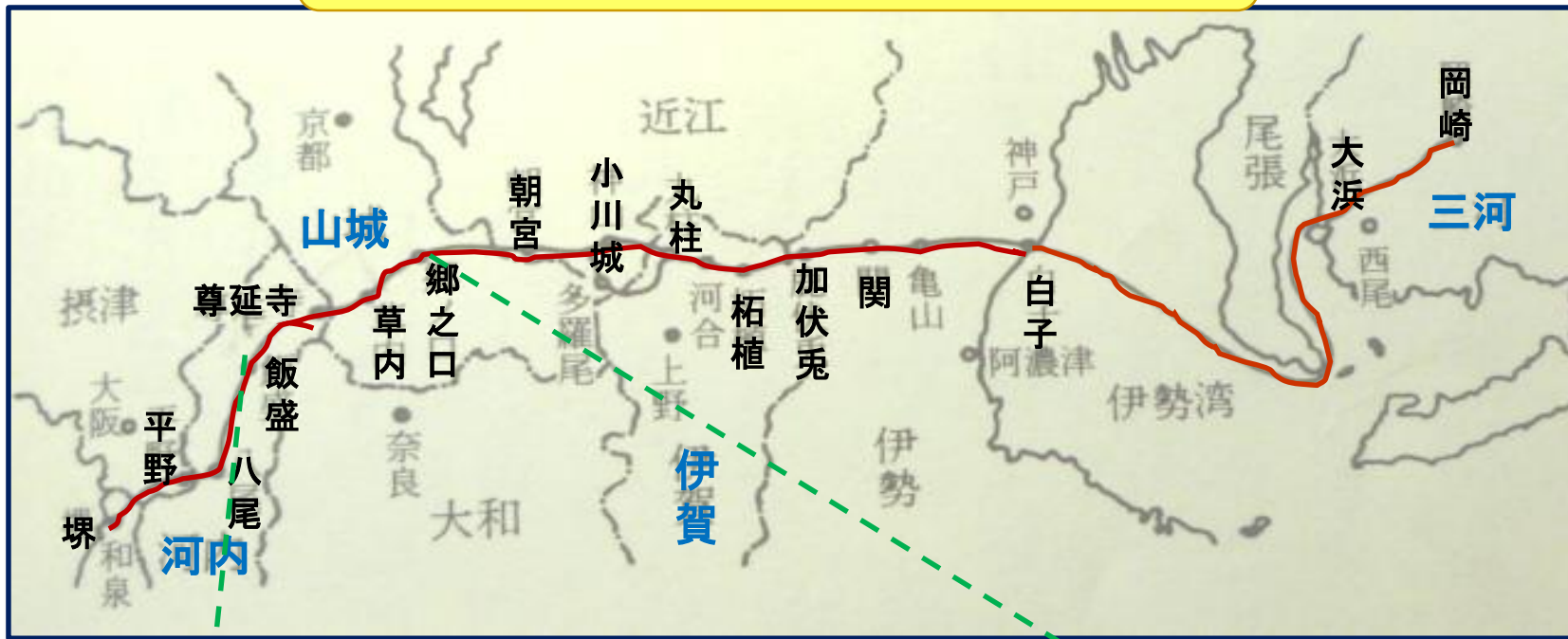
6/3 宇治田原山口城(10～12時)、信楽小川城(21時)



主な出来事・経過

月日	時刻	出来事	場所	
6/2	4時	本能寺の変が起こる		
		家康、信長に上方遊覧の御礼に京都へ向かう	堺、平野、八尾	
	9時	茶屋四郎、本多忠勝に「信長自刃」を報告	交野	
	10時	忠勝、家康に変を伝える	飯盛山西麓	京より9里
	14時	三河に帰ることを決め出発	茶屋: 銀子 本多: 蜻蛉切り槍	伊賀ルート選択 (服部半蔵)
		長谷川秀一: 恩顧者に連絡、道案内を依頼	津田、杉	
	18時	山中道に迷い、普賢寺の百姓新八と出会う 穂谷の白井家で休息・仮寝	尊延寺、穂谷	家康身分を明かす
6/3	3時～	新八と穂谷百姓忍兵衛の案内を受け草内の渡しまで	宇頭城、普賢寺、多々羅、興戸、草内渡し場	家康から証文を授かる
	8時	飯岡 小山太郎左衛門政清らに助けられ、木津川を舟で渡る	木津川 (増水中)	九寸七首を授かる
	10時	山口城から新主膳正末景、市野辺出雲守、奥田仁義らが出迎え、宇治田原山口城へ	多賀、青谷、市辺、郷之口	山口城主秀康 光広

伊賀越え経路(堺～岡崎)



逃走路

